

まちで集めた市民力

このコーナーには自薦、他薦を問わず、かわら版記者が収集した市民力をご紹介します。

ぶらぶらクラブの皆さんが 楽しいクリスマス会に一役！

十二月二十一日、障がい児の福祉拠点である「リンゴの木」のクリスマス会が旧・長井小学校で行われました。

創年大学ぶらぶらクラブの皆さんは朝早くからフライドポテトや甘酒つくりの精を出し、ハーモニカや鈴、タン

バリンを奏でながらクリスマスソングを歌って盛り上げました。

特に子どもたちが喜んだのはサンタさんからのプレゼントとサプライズで登場したミッキーとミニーでした。サンタさんのヒゲを引

言ったり、ミッキーと手をつないだり抱きついたり大喜び。またミニ雪だるまも飾られ、手をまっかにしながら触ったりして大はしゃぎ。ぶらぶらクラブの

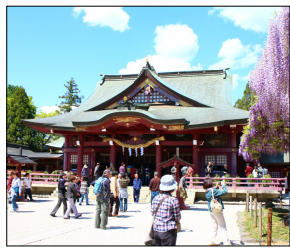


(R・K)

姉妹都市「笠間市」の 市民力探訪！

十一月二十九日、かわら版記者は、笠間市内で開催されている街中活性化イベント「ご当地グルメサミットin笠間」を視察に行きま

*笠間市は人口七万七千人(矢板市の約倍)。日本三大稲荷の一つである「笠間稲荷神社」や等間焼があり、通年観光客でにぎわう。



笠間稲荷神社

*街中活性化イベントの取り組みについて、実行委員長の川野輪さん(笠間焼協同組合・理事長)にお聞きしました。

今回の「ご当地グルメサミットin笠間」は今日、明日二日間開催し、市内はもちろん県内各市町から出展してもらっています。このイベントの運営資金は一日一万円の出展料などでまかなわれています。各店では最低二万円



所に分散しており、それぞれが二百〜三百m以内の近くにあります。歩いて各会場を回ることもでき、その途中に

「記者のコメント」
・このように笠間市の街中活性化イベントを運営しているのは関係者の集客への自信と取り組みの意欲によるものだと思います。
・いろいろな企業からの協賛があったとのことですが、よくこれだけ集められたと感心しました。

元気のツケツは

今回は、昨年の十月に「体育功労者賞」を受賞された長谷川つや子さん(六十三歳)をご紹介します。

●剣道を始めて何年になりますか？またそのキッカケは？

下の娘が中学を卒業したのを機に始めまして、今年で二十二年になります。実は、この娘が剣道教室に通っておりましてので、その送迎をしているうちに剣道に興味を持ち、いつかは自分もと思っておりました。

●市内の剣道人口は何人ですか？またその内子どもは何人ですか？

全体で百五十人くらいおりまして、その内小中学生は半数といったところ



●市内には女性の有段者は何人いますか？

現在では四段が最高位でして三人おります。ただ私の場合には十一回挑戦してやっと合格したものでして、奇跡としか言いようがありません。周囲の支えに感謝しております。



●剣道を通して、子どもたちにはどのように育って欲しいと思いますか？

礼節を大切に、強い体と優しい心を持った子どもに育って欲しいと願っています。

●最後に一言お願いします。

やる気があれば、何でもできることを実感しています。若い人たちには負けぬよう、常に体力向上に努力し、五段を目指して頑張ります。